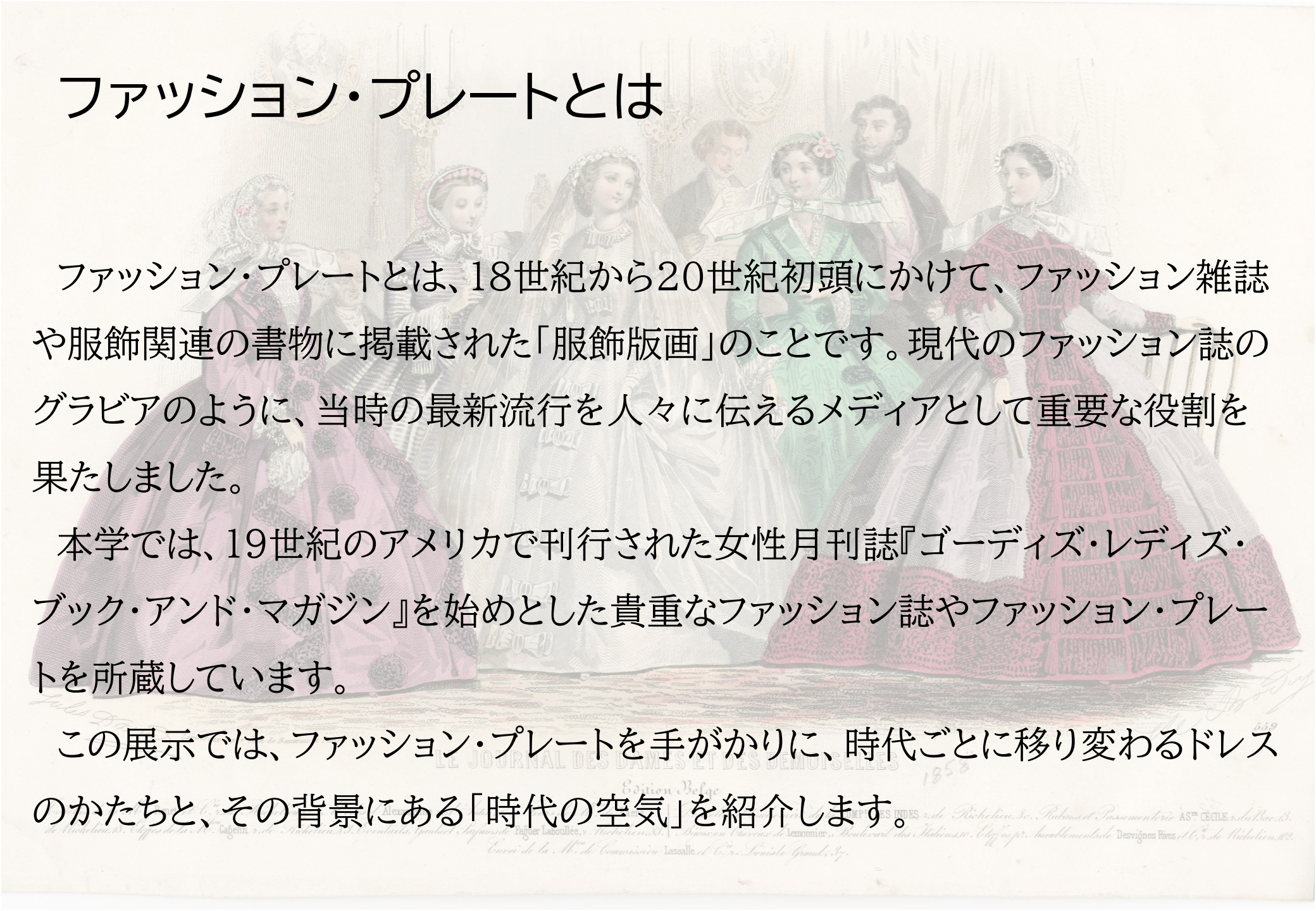


ファッション・プレートで見る
18〜19世紀ドレスの変遷

― シルエットが語る「時代の空気」 ―

ファッション・プレートとは



ファッション・プレートとは、18世紀から20世紀初頭にかけて、ファッション雑誌や服飾関連の書物に掲載された「服飾版画」のことです。現代のファッション誌のグラビアのように、当時の最新流行を人々に伝えるメディアとして重要な役割を果たしました。

本学では、19世紀のアメリカで刊行された女性月刊誌『ゴーディズ・レディズ・ブック・アンド・マガジン』を始めとした貴重なファッション誌やファッション・プレートを所蔵しています。

この展示では、ファッション・プレートを手がかりに、時代ごとに移り変わるドレスのかたちと、その背景にある「時代の空気」を紹介します。

宮廷の横幅から、自然な縦線へ

ロココ・スタイル／シュミーズ・ドレス／エンパイア・スタイル

18世紀のロココ・スタイルでは、パニエでスカートを左右に大きく広げ、コルセットで胴を細く見せるドレスが流行しました。明るいパステルカラー、リボン、レース、花飾りなどの豪華な装飾は、フランス宮廷を中心とした上流社会の華やかさや身分を表していました。

18世紀後半には、啓蒙思想や古代ギリシャ・ローマを理想とする新古典主義や、自然への憧憬（ルソー的思想）が流行します。そのなかで、白い薄手の木綿やモスリンを用いた軽やかなシュミーズ・ドレスが登場します。このドレスは窮屈なコルセットやパニエから女性を解放しました。

ナポレオンが皇帝となった19世紀初頭には、胸の下に高いウエストを置き、すとんと下に落ちる縦長のエンパイア・スタイルが広まりました。古代ローマやギリシャを思わせる優雅で端正な装いが、新しい時代の美しさとして受け入れられたのです。ただし、このスタイルは生地が薄手でヨーロッパの厳しい冬には向かなかったため、防寒のためショールや外套が着られるようにもなりました。

ふくらむスカート、拡張するシルエット

ロマンティック・スタイル／クリノリン・スタイル

19世紀前半、フランスでは王政復古が進みました。服装も、古代風で細く縦長だったエンパイア・スタイルから、再び横に広がるシルエットへと移り変わります。特に1830年代には、夢や空想の世界へのあこがれや、歴史的なものへの感傷を表したロマン主義の影響を受け、女性のファッションは大きな変化を見せました。再びウエストを細く見せるためコルセットが復活、詰め物や芯などで袖やスカートをふくらませた華やかなロマンティック・スタイルが流行しました。

19世紀半ばには、産業革命によって布地や金属製品が大量に作られるようになり、衣服の生産にも変化が起こります。ミシンの発明と普及により、縫製の効率が高まり、たっぷりと布を使った複雑な衣服や装飾も、以前より作りやすくなりました。こうした技術の発展とともに、スカートを大きく広げる道具も発達します。1850～60年代には、針金や鯨ひげで輪を作ってつなげた「クリノリン」が流行。スカートの裾を大きく広げるクリノリン・スタイルが人気を集めました。

後ろへ、曲線へ――世紀末の造形美

バッスル・スタイル／アール・ヌーヴォー期のSカーブ

19世紀後半になると、女性のドレスは、スカートを横に大きく広げる形から、前面をすっきりさせ、腰の後ろを大きくふくらませる形へと変化しました。このスタイルは、腰の後ろに付ける「バッスル」という腰当てを用いたことから、バッスル・スタイルと呼ばれます。布を幾重にも重ねたり、後ろにドレープを作ったりすることで、後ろ姿に立体感と華やかさを生み出しました。

このスタイルは、明治時代の日本にも取り入れられました。鹿鳴館では、夜会や舞踏会の場でバッスル・スタイルのドレスが着用され、上流階級の女性たちのあいだにも広まりました。

19世紀末から20世紀初めにかけては、植物や動物など自然のモチーフ、また日本美術やケルト文様などの影響を取り入れたアール・ヌーヴォーという芸術様式が流行します。この時期の女性ファッションでは、フープやバッスルによる大きな骨組みが次第に姿を消し、新しい形のコルセットによってウエストを締め、胸と腰を強調して、身体を横から見たときにS字のように見せるSカーブ・スタイルが流行しました。

参考文献

・西洋服飾版画 /石山彰編・解説. 文化出版局, 1974 (383.1/652/1,2)
・ファッション・プレートへのいざない (フジアート・ヴィジュアル・ブックス:2) /伊藤紀之著. フジアート出版, 1991 (383.1/1077)
・絵とたどるモードの歴史 /ゲルトルート・レーネルト著；黒川祐子訳. 中央公論美術出版, 2011 (383.1/1567)
・世界服飾史のすべてがわかる本 / 能澤慧子監修. ナツメ社, 2012 (383.1/1595)
・写真でたどる美しいドレス図鑑 / リディア・エドワーズ著；徳井淑子日本語版監修・訳；小山直子訳. 河出書房新社, 2021 (383.1/1837)
・あたらしい近代服飾史の教科書：衣服の標本で見る、着るものの歴史と文化 / 長谷川彰良著. 翔泳社, 2025 (383.1/1868)
・ファッションの歴史：西洋中世から19世紀まで,：新装2版 / ブランシュ・ペイン著；古賀敬子訳. 八坂書房, 2024 (383.1/1870)
・イラストでたどる西洋ファッション年表：ビザンツ帝国時代から20世紀初頭のモダンファッションまで / Studio Jorne著；[猪川なと翻訳]. ホビージャパン, 2025 (383.1/1885)
・ファッション辞典 / 大沼淳, 荻村昭典, 深井晃子監修；文化出版局, 文化女子大学教科書部編. 文化出版局, 1993 (593/1577)
・はじめて学ぶフランスの歴史と文化 / 上垣豊編著. ミネルヴァ書房, 2020 (235/79)
・もっと知りたい名画の世界：よそおいの200年 / 坂上しのぶ編集・執筆. ヤマザキマザック美術館, 2017

参考Webサイト

・The art of fashion plates: a hidden history of three pioneering women.ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館. https://www.vam.ac.uk/articles/the-art-of-fashion-plates-a-hidden-history-of-three-pioneering-women?utm source=chatgpt.com (2026/10/14)
・A Brief History of the Fashion Plate. Maryland Center for History and Culture https://www.mdhistory.org/a-brief-history-of-the-fashion-plate/ (2026/10/14)
・Project Gutenberg「Origin and Early History of the Fashion Plate」. Project Gutenberg https://www.gutenberg.org/files/34472/34472-h/34472-h.htm (2026/10/14)
・京都服飾文化研究財団(KCI)デジタル・アーカイブス.京都服飾文化研究財団 https://www.kci.or.jp/archives/digital archives/ (2026/10/14)